

2024年度 第3回 運営推進会議 議事録

- 1 日 時 令和6年9月30日(月) 15:00～16:00
- 2 場 所 地域密着型小規模特別養護老人ホームはぎの郷 地域交流スペース
- 3 出席者(敬称略)

利用者: ○藤○○子

利用者家族: ○藤○江

地域代表: ○戸○夫(民生委員)

地域包括支援センター: 木○○志

市職員: ○川○夏(介護保険課)

知見者: ○本○一(特別養護老人ホームうおずみ施設長)

事業所: 宮武昭彦(施設長) 藤原麗子(介護支援専門員)

佐古田真夕(介護職員)

欠席者: ○田○高(自治会長)

4 会次第内容

(1) 開会の挨拶、施設長挨拶

2024年度の第3回の運営推進会議を始めさせていただきます。

(2) 出席者の自己紹介

出席者より自己紹介いただき会次第に入る。

(3) 「はぎの郷」の現状報告(介護支援専門員)

現状報告(令和6年8月30日現在)を用いながら入居者の状況及び事業所が取り組んでいるサービス内容を報告する。

(4) 質疑応答・意見交換

施設長: それでは、運営報告書もしくはその他についてですね、何かはぎの郷の運営についてのご質問等ございましたらと思います。

ご意見: (民生委員)

たとえば、トイレや用事がある時はコールして下さいと、ボタン押すんですよね。特養に入られている方は要介護3とか4の方が入っておられると思いますが、認知の度合いも様々だと思うのですが、コールのボタンって押していただけるんですか?

(介護支援専門員):

そうですね。押していただける方と、押していただけない方がいらっしゃるま

す。押していただける方はもちろん、押された時に介助させていただきますが、おしっこがしたい、便がしたいという感覚が分からないの方が多いので、決められた時間に排泄介助していただいたり、そわそわされている様子をみてトイレかな？とご案内し介助させていただいたりしています。

ご意見：(民生委員)

コールボタンだけでなく、状況に合わせてされているんですね。

(介護支援専門員)：

そうです。

ご意見：(民生委員)

最近に薬に関するヒヤリハットは、ほとんど無くなっているんですか？

(介護支援専門員)：

無くなっていたんですけども、9月に入ってから薬の事故があがってきてまして、こちらの資料は7月8月のものなので、記載されていないのですが何件か事故がありました。

ご意見：(民生委員)

何件かはあったんですね。あと、車椅子の移乗中とか、車椅子からベッドに行くときにその間にヒヤリハットや事故で報告されていますが、ほとんどがそんな感じのようですが。それはコールされて、フロアーに行きたいとかいう時に行って介助するとか、こまめに見守るという以外は対策は無いんでしょうか？

(介護支援専門員)：

そうですね。ベッドから起きたいからとコールを押していただくのが一番なのですが、自分で出来ると思われている方が多いので、足に力が全く入らない方でもお1人で車椅子に乗ろうとされたり、歩いて行こうとされたりされてヒヤリハットになったり、車椅子の方で職員が抱えて移乗介助をしている時でも、移乗する事を伝えても、伝わらなくて怖くてベッドの柵をつかんで離されなくて介助出来なくて、体勢を崩してしまったりする事があるので・・・

ご意見：(民生委員)

なんとなくどうしようもないヒヤリなのかなと思ったりしているのですが。

(介護支援専門員)：

職員もこまめに部屋の中を見守りして下さっているのですが。

ご意見：(民生委員)

完全に付き添ったりは出来ないですもんね。

(施設長)：今回 ICT 化という事で、眠りスキャンアイと言いまして、この施設には眠りスキャンという、ベッドにセンサーが入ってしまして寝返りをうったり起き上がられたりすると、モニターに絵で表示されるんですが、今度それにカメラがついて、お部屋で転倒されたりした時に、モニターでキャッチ出来るシステム

を今、補助金申請をしております。プライバシーに係る事ですので、利用者様と家族に同意を取って、NGの所は蓋をしてOKの方は眠りスキャンアイを入れさせていただくことになります。国の方針もそちらの方に進んでいますのではぎの郷もそれを導入する為、申請しております。それにより万が一ベッドから落ちかけた時、落ちた時に、短時間でキャッチして対応出来るという。

ご意見：(民生委員)

それは、起き上がったら自動的に、職員の所に通知が行くとかですか。ずっとモニターしないといけないという訳では無いんですね？事が起きた時に、センサーが働いて通知が行くんですね？

(施設長)：そうですね。(施設のパソコンモニターを見せながら) このパソコンの画面に今、寝ていますよ。とか今お部屋にいないですよと表示されていますが、今度これにカメラが付きますので、リアルタイムで起き上がったら、その姿がこちらに映りキャッチすることが出来ることで、転倒されていて巡視されるまで転倒されたままになるのではなく、すぐに行って対応するという事が出来る。

ご意見：(民生委員)

7月の事故で、12ページでおトイレした後にナースコールがあって、トイレに時間かかるからと離れ、昼食の用意が出来たので、声掛けしたら転倒されていたと言う、トイレのコールが無いと気づきは無かったのかなと思ひまして。

(介護支援専門員)：

はい。この方はですね。ポータブルトイレをお部屋に設置させていただいてまして、基本お1人で行かれていてお通じなどが出て、自分では不安な時はコールを押して「手伝って」という方で、おしっこならお1人で全部してしまう様な方でして、お声掛けして職員が側にいると、嫌がられて「ドアも閉めて」という、しっかりして意見も言える方だったので、居室ドアを閉めさせていただいて、その場を離れて食事の用意などをして、用意が出来たのでお声掛けすると、一人で動かれて転倒されました。徐々にお体の調子も悪くなっていた時期だったので、いつもより足に力が入らず転倒されたのかと思います。いつもなら自分では無理だと思ったら、呼んではくださっていたのですけれど。

ご意見：(民生委員)

例えば脳梗塞などで倒れられてね、時間が勝負ですから、今度見守りカメラを導入されたらね。

(施設長)：そうですね。特養では一般的には夜間帯20対1と言われてまして、20人に一人の職員が付くのですが、はぎの郷は10対1で、かつ眠りスキャンに眠りスキャンアイが入れば、利用者様に対して手厚い見守りが出来るかなと思います。

ご意見：(民生委員)

結構、ベッドからずり落ちたり、寝てるときに身体を動かされて落ちそうになるとか、僕も寝相が悪いので、時折ベッドから落ちることもあるんですけどもそしたら結構痛いなと思ったりして。

あと、爪切りでの事故が2件ほどあって、爪を切る時に切ってしまっただけという内容でしたが、今、そういう爪切りの事故が起きない爪切りがあると聞いたのですが、爪を削るタイプのやつがあるみたいで。深爪すると痛いですしね。

(施設長)：地域包括センターの方は、どうでしょうか？

ご意見：(地域包括センター)

そうですね。先ほど出た話と重なるのですが、大体すぐに駆け付けているかなと思うのですが、駆け付けるのに大体どのくらい時間がかかるのかなとおそらく、最長になったのが先ほどの7月22日の事案かなと思うのですが大体、音がして駆け付けるのかなと思うのですが、間が空いた事例とかあるのかなと。

(施設長)：そうですね。介護職員さんどうですか？お部屋だと眠りスキャンがあるかと思いますが。

(介護職員)：夜間など、音が鳴ったらすぐ行くようにしていますので、ただ他の方のお部屋に入っていて、排泄介助などしていて時間がかかっている時は、すぐに行けない時もあるのですが、出来るだけ早く駆け付けるようにはしています。

ご意見：(地域包括センター)

うちも特養を持っているので、誰かの対応しているとボタンと音がしても「あっ！」となっても、こっちに行っても「あっ！」となるので結局待つていただくしかないのです、10人に職員1人という所で、うちは20人に1人なので職員が走りまわっています。事故の発見を少しでも早くして、脳梗塞の話もあったようにいざという時の緊急対応も迅速にして貰えたら良いのかなと。

(施設長)：有難うございます。介護保険課さんはどうでしょうか？

ご意見：(介護保険課)

先ほど、10月20日に秋祭りをされると聞いたのですが、全体行事としてですか？

(介護支援専門員)：

そうです。全体行事で行います。コロナの関係で中止していましたが3年ぶりくらいに復活します。

ご意見：(介護保険課)

他の事業者様も、いろいろされ始めているのかなという印象があるのですがまた冬になるとコロナだけじゃなくて、インフルエンザ等も色んな所に

気を使っていたかかないといけないのかなと。対応策としてはアルコール消毒とかになってきますか？

(介護支援専門員)：

そうですね、行事委員が色々と考えていっている所なのですが、確か10月13日ごろまでにコロナが出れば中止とか、雨が降れば1階のフロアで行う。もちろん手洗い消毒、マスク着用の上という事は決まっていますけれども出来るだけ予防しつつ、秋祭りが出来たらなという感じですね。

ご意見：(介護保険課)

行事があると、このお写真見るだけでも楽しそうだなと思います。

(施設長)：今回、この施設はネパールの技能実習生が2名いますので、ネパールの民族衣装を着て国技の踊りをしていただけるという事で、そのような資源を生かしてのお祭りになります。あと3か所のボランティアに来て頂いて、ソーラン節や花笠音頭、傾聴ボランティアさんにも来て頂いて利用者様により添いとお話を聞きながら、地域のボランティアと施設の職員で一体になって、そこに外国人の方も入っての初のコロナ開けのイベントとなります。

接種としては、コロナの接種なども今回、申し込まれましたか？

ご意見：(利用者家族)

あ、はい一応申し込み用紙をFAXして下さいとの事でしたので本日直接お渡ししました。

(施設長)：コロナワクチンは、今回半々というか、受けない方が多いですね。副作用が強いという事で、厚生労働省も、強制しないように、差別化しないようにと言う事で、任意にしているので比較的コロナワクチンは少なくインフルエンザ予防接種はする方が多いのかなと言う状況で感染対策をしていこうという事になっています。

家族様は、何かご質問とかありますでしょうか。

ご意見：(利用者家族)

いえ、私はここに来て初めて傾聴ボランティアと言うのを知ったんですよ。今まで、グループホームでは無くて、ボランティアはゲームとかには来てくれてましたが、傾聴ボランティアは、どのような事をされているのですか？

(介護支援専門員)：

そうですね。丁度今日も来ていただいていたのですが、何人かの方が来て下さって、各階に分かれて、個別で利用者様とお話をしたり、お話を引き出したりして気晴らしであったりとか、昔のお話をして懐かしんでいただいたりしています。普段職員も、なかなかお話する時間をじっくり取る事が出来ないののでいつも出来ないお話を聞いて貰ったりしています。

ご意見：(利用者家族)

そうなんですね。

ご意見：(地域包括センター)

時間的にはどの位、居てくれるんですか？

(介護支援専門員)：

大体1時間くらいですね。毎月最終の月曜日に来て下さっているの、丁度今日来ていただいていた日ですね。

ご意見：(地域包括センター)

傾聴ボランティアの話が出たので、色々お話を聞かせていただいた内容と言うのは本人様のプライベートの内容にも関わるので、職員さんにこんな話だったとか報告って入ったりするものなんですか？

(介護支援専門員)：

いえ、そこはお話の内容は最近のニュースであったり内容は、バラバラなのでそこはお任せしていて、職員も側で話をされているのを見たり聞いたりしているので、特にどんな話をされたとかの確認はしていません。

(施設長)：プライベートの会話という事で、ボランティアに来られている方、傾聴ボランティアの方も含めて、誓約書と契約書を書いているので、守秘義務や怪我などの対応なども、書類でかわしてからボランティアに入ってもらっています。

うおずみ施設長が、来所される。

(施設長)：先ほどご紹介しました、有識者のうおずみ施設長様です。

(うおずみ施設長)：すみません。遅くなりました。よろしくお願い致します。

(施設長)：他に何かありますでしょうか？

ご意見：(民生委員)

介助ロボットと言うのは、どんな物なんですか？車椅子を移乗する時の介助ロボット？

(施設長)：Hug（ハグ）と言う名前です、利用者様に機械に乗って貰って、そのまま一緒に上がって移乗して下りていただく物です。

ご意見：(民生委員)

ベッドの上からとか、椅子の上からとか移動する時とか。

(施設長)：そうですね、トイレの時でも便座から上がった状態の時にオムツの交換が出来るので今まで大きい体格の方だと2人で、介助していた所をそのロボットを使うと一人で介助出来るというものです。

ご意見：(民生委員)

今は1台だけですか？

(施設長)：今、1台導入してみて、今年入ったばかりです。あとは、1台は話掛けたら

返事してくれるロボットですね。その2つのロボットを、ICT化という事で入れてみまして、ロボットが利用者様と一緒に懐かしい歌を歌ったり、踊ったり体操したりしてくれまして。3つ目として眠りスキャンアイという事で。

ご意見：(民生委員)

前にニュースで見て、そういう物かなと思ったんですけど。前に苦情の第三者の意見で、そういうAIのロボットを導入したらどうですかと意見が挙がっていたので、結構なお値段するんですか？

(施設長)：結構なお値段します。ただ県の補助金がついていますので、それでも数百万円とかするものですので。一応はぎの郷と、まつかぜの郷にそれぞれ置いています。

職員さんが、まだ慣れていないんですね。機械を使う事に。職員さんにはこれから利用者様の人口が増えていって、働く人口は減っているのも、機械と共存、共営していかなければ、腰を痛めたり、膝を痛めたり無理することで他の利用者様の事故に繋がるので、今は積極的に機械を使う事を進めて行っています。

ご意見：(民生委員)

これはストッパーとか、安全装置が無理に力が掛かった時に作動するとかあるんですか？

(施設長)：安全装置はついていないのですが、基本的にはどこかに挟むとか、そういう物が一切ついて無いような物で全国的にハグは使われていますので、安全かな機械ですけども、使い方をしっかりしないと利用者様がしんどくなってしまうので、今3回目ですかねまつかぜの方でも次4回目なんですけども業者様に何度も来ていただいて使いやすさを教えていただいて。まず職員が使えるようにならないと、利用者様に負担が大きくなりますので。

ご意見：(地域包括センター)

全体の建物の構造の事など分かっていない所があるのですが、消防避難訓練をされたという事で、全員避難出来ましたと言われていますが、どこに避難を皆さんされているのですか？

(介護支援専門員)：

火元はここ。と設定したうえで、フロアの一番端っこに、非常階段のある方向に移動しまとまっていただいています。頭にクッションを乗せたりして貰いながら避難していただくなどのやり方をしています。

(施設長)：消防署からの指導もありまして、この施設は鉄骨かつ燃えない様に出来ているので、むやみに外に出たりしないで水平避難を推奨しますという事で、右で火事が起きたら左の外のバルコニーに逃げて下さい。左で起きたら右に逃げて下さい。真ん中で起きたら出来るだけ非常口に近い方へ逃げて下さいと、水平

避難を何回も練習してですね。その間に消防署が来て救助して頂けるだろうと。ハザードマップには載っていませんので、洪水と言うのは少ないと思いますが、万が一あった場合は下から上に、なるべくこの建物から出ない様に、むしろ地域の方がこちらに避難してくるだろうという想定で、避難訓練を行っています。

ご意見：(地域包括センター)

うちの方だと、まず構造上ベランダに逃げると言う話でうちでもこの間させて貰ったんですが、いかんせん大変だったなど。

(施設長)：そうですね。あとシートで運ぶ練習とか

ご意見：(民生委員)

車椅子の人だと使えないから。

(施設長)：シートで、緊急の場合運ぶという事で。

ご意見：(地域包括センター)

(参加されている利用者様に) お疲れ様でした。訓練有難うございました。

ご意見：(民生委員)

この前、たまたま見守りしている方が救急車で運ばれてエレベーターが無いから、ストレッチャーが入らないんですね、そのときシートに変えてたからそういう使い方があるんだなど。そういう事ですね。

(施設長)：そうですね、シートで早く安全にという事で。

うおずみ施設長は何かありますか？

ご意見：(うおずみ施設長)

はい。遅れて申し訳ございませんでした。

まず、事故報告の7月のコロナ陽性者であり発熱が続いていると言うのは1人で収まっているのでしょうか？

(施設長)：1階はコロナ3名出まして、のち1名がコロナの後遺症で病院で入院され残り2名は居室対応で落ち着いたという事で、感染源は3階からスタートで職員から出ました。その後1階なのでおそらく3階との接点は、機械浴の入浴介助の時に接点があったかなと、すぐゾーニングを掛けて食い止められました。

ご意見：(うおずみ施設長)

どこも大変だと思います。

あと、事故報告の表記の仕方だと思うのですが、一番最後の2階のL様の所でですね。ミキサー食を食べておられた。認知症のある方かなと思うのですが、対応で「注意し」と言うのがどういう注意なのかなと。本人に対してどういう事を言ったのかなと。

(介護支援専門員)：

空腹の訴えが頻繁な方で、キッチンに向かって何度も来られる方であったんで

すけども、注意し。という記載の仕方ではあるんですけども、他の方の物を食べてしまわれたので、それはL様の物じゃない事とご自身の食事は食べたでしようとお声掛けをして、お席に戻って貰った状況になります。

ご意見：（うおずみ施設長）

説明したという事ですね。注意し。となっていたのでえ？と思ってしまって。ちゃんとされていたとは思っていたのですが。

（施設長）：そうですね。不適切ですね。

ご意見：（民生委員）

すみません。これは食事される時は皆同時ではないんですか？

（介護支援専門員）：

基本は皆さんフロアーで召し上がっていただいている状況ではあるんですけども、お1人調子が悪い方がいらっしゃって、お部屋で召し上がって頂いていまして、配膳の準備をしている時にL様は職員の動きを見ておられるので、キッチンの方へ来られて、居室配膳する方の食事を召し上がられてしまった。それ以外の方は事前に食事は配ってまして。Lさまはめちゃくちゃ食べるのが早い方で、ご自身の物は召し上がって他に無いかなとキッチンの方へ探しに行かれた感じです。

ご意見：（うおずみ施設長）

有難うございます。あと、先ほど介護ロボットの話をしていましたが、職員さんになかなか浸透していないという部分は同じかなと、うちもまだ導入はしていませんが、ロボットと聞いただけで拒否反応がありまして。うまく説明会などしながら誘導されているんだろうなと思うのですが、一番聞きたいのは利用者様の声ってどんな声が挙がっているのかなと聞いてみたいと思ひまして。何か仰っておられますか？

（施設長）：利用者様も慣れないので、ちょっと突き上げられる事に対して「痛い痛い」とか。ただ機械は痛いようには出来ていないので、職員の扱い方がまだ出来ていないので。この前業者様に来て頂いて「痛い」と言われている利用者様に一緒にモニターとなってやって頂いたら、本人痛くないとの事で、まず職員さんが使い慣れると利用者様にとってはそんなに違和感はないようで。むしろ2人でトイレに入られるよりは、1人に対応してくれる方が安心されている部分はあるかなと。

ご意見：（うおずみ施設長）

結構、どうなのかなと。感想をあまり聞いた事が無いので、反応を聞く機会も無かったのでどんな反応なのかなと。中には最初から人の手よりもという話も聞いたことがあるので。人と人の方が気持ちが通うではないですけど、声掛けしながら安心して移乗の介助して頂くのは基本かもしれませんが、職員さん

の腰痛の事とかも考えるとそこまでの負担ってね。1名介助だけでなく2名介助する場面も有ったり前後で、上下でその方に応じた介助をされていると思うのですが、そこに機械が入るとどんな反応されるんだろうなと。興味では無いのですが、本当に嫌と言う方もいるのでは無いかと思ったりして。聞かせて頂いて…有難うございます。

(施設長)：根付くまでは時間がかかるかなと思います。まつかぜの郷の方で60代の職員さんで体力的に、女性の方でしんどいので退職をしようかなという話をされていた方が、ハグが入ったことで週3回位なら続けられそうだと。県や国の狙い通りでは無いですけど、職員さんも高齢化していますので、ロボットによって仕事が続けられる、このような話が出始めると皆さん使い始めていくかなと思うのです。

ご意見：(民生委員)

私の先輩の88歳くらいの方で、奥様が車椅子になって、施設に入られたのがトイレでね、自分一人で抱えてすることは出来ないと腰痛で駄目だと介護施設に入れる事を決心したと言っていましたね。体重そのものが掛かるので大変ですよね。

(施設長)：やはり、上げながらオムツ交換しないといけないのでどうしても基本的に2人いるかなと。自宅で一人でやると言うのは限界があるかなと。

ご意見：(民生委員)

とても1人で出来ないから施設に入って貰ったと言っていましたね。

(施設長)：ましてや自宅のトイレは狭いですからね。

ご意見：(民生委員)

車椅子も入らないと言っていましたね。

ご意見：(利用者家族)

私だったら、自分が若いから、自分がこんな所に入るのだったら、そういうのがあった方が嬉しいなと思いますね。うちの義母からしたらロボットなんて頭に無い事ですけれど、これからの人はロボットでも十分だから、どんどんそういうのを検討していってくれたら、トイレでもわりかた頭がしっかりしている人だったら人よりロボットの方が良かったりすることもあるんじゃないんですかね。自分がそういう事になった時に、有った方が進めてくれる方が嬉しいかなと思いますね。

ご意見：(民生委員)

トイレもロボットが対応できるようになれば、トイレの形も変わってくるかもしれないですね。

(施設長)：そうですね。逆に機械が入るには広さが無いと入らないので。

おっしゃった通り、在宅の方針もあるじゃないですか、在宅的なロボットも増

えてくると思います。

ご意見：(利用者家族)

うちの知り合いなんかは、自宅のトイレなんかも片側から入って片側から出れる様に広めにとって車椅子で。お母さんの為にそういうお家をいつか同居になるからと作ったりしてるのでね。そういうのを聞くと、そういうのを見てみたいなど。施設では、片側からこうなっているとかいうから、そういうのもお家に必要ですよ。なかなか入れない状況の所で、これからうちの主人なんかも75で団塊の世代で、一番多い時だからなかなか入れなくなるなど。

(施設長)：トイレとお風呂が生活の中でネックになりますからね。

ご意見：(利用者家族)

そうですね。お風呂なんか知り合いの所なんか、またぐのではなくて下に沈む様にしたりして。私、慣れなかったら反対に怖いなと思ったり、滑りそうと思ったりするけど、そういう風になっている人もいますね。次々そういう物があるんだと思って。出来るものは利用してね。またぐのはちょっと大変になってくるかなと。私は、まだロボットがあっても話相手でも全然抵抗なくやれる歳だけど、ちょっと年齢がいくつくと眼中にないもんだから。義母は動物が好きなんだから犬とか好きだったから、そういう形の何かあったら良いかなと思います。

(施設長)：一応、今度まつかぜの郷の方で実験的に、ドッグセラピーをします。ボランティアで犬を連れて来ていただいて、犬好きな方など参加、不参加を家族様に聞いて、アレルギー等も。参加の方にはしていただいて上手くいけば、はぎの郷でもやらせていただきます。そのような事も検討しています。

ご意見：(利用者家族)

義母は、犬は好きでしたね。家で飼えなくなったら玄関に置物を置いたり。表札にも犬の名前を一緒に入れたりしていたので。分かりました。有難うございます。

(施設長)：他には無いですか？

ご意見：(うおずみ施設長)

もう一つだけ、話に出ているかもしれませんが、爪切りの事故が同じ内容だなと思ひまして。

(施設長)：そうですね。爪切りに関しては講習会を行いまして対応したいと思ひます。皆様、他にはないでしょうか？

ご意見：(地域包括支援センター)

なんとか、10月20日の秋祭りは成功して、楽しんでいただけたらなと思ひます。うちの方もコロナの時期があったので、夏祭りが実施できなくて10月に形を変えてやろうかなと準備をすすめているので、自分たちもドキドキしながら

ら持ち込まない様に頑張っているのですが、ちょっとビリビリする所もありますけれども、皆様が笑顔で、英気を高めて頑張っていたらなと思います。

(施設長)：有難うございます。

大丈夫でしょうか？ではこれを持ってはぎの郷の第3回の運営推進会議の方を終わらせて頂きたいと思います。またこの後でも資料を呼んでいただいて何か質問等ありましたら、書面なり連絡なりを頂けたらと思います。本日はお忙しい中、お時間頂きまして有難うございます。今後ともはぎの郷の運営の方のご支援を宜しくお願い致します。有難うございました。

(一同)：有難うございました。

以上

次回は令和6年11月30日開催予定